

## 編 集 後 記

- 空梅雨かと思っていると集中豪雨。山陰の皆様には大変だったと思います。心からお見舞いを申しあげます。毎年のように何処かで災害が起ります。つらいことです。梅雨が空けたら猛暑。年々年のせいですか骨身にこたえますこう暑くて虫の方への影響はどうだったんでしょうか。今年は台風が発生も少ないとか、之はエルニーニョ現象のためと言われたりしています。その少ない台風の内第5号はゆっくり北上、上陸後もゆっくり陸地を縦断北上と気象台を手こづらせるような迷走所詮自然現象は現代科学とて解明出来ないことだらけだと思います。
- 今年も身近かでそこそこの結果が得られました。自然は深遠だな々と感心しています。昆虫研究の醍醐味は未知との遭遇です。一文にもならない地方のファウナ解明(?)なんかに眼の色を変えているのは虫が好きなんだからだと自己満足の日を送っています。
- 慢性原稿不足、資金不足で氣息奄奄です。何処まで息が続くかです。次号は1984年5月発行予定です。原稿切は3月末です。御投稿をお待ち致しております。会費の納入も是非是非お願いします。 (T)

---

きべりはむし 第11巻第2号

昭和58年11月25日発行

発行：兵庫昆虫同好会

〒652 神戸市兵庫区氷室町1丁目44 高橋寿郎 方

振替 神戸5-72052

印刷：(株)文尚堂

〒652 神戸市兵庫区下沢通3丁目4-11

---